きのふの緊急閣議

猫につき六日左の如く聲明 部は川越退旅第八次會談の

二日夜の

資額におい

八决定に到達

「御止り遊ぼされることを漂しとせず、御心の傷手を癒すべく暫時海外を網旋行になつた上、南フランスカアメリカ君・

目相より經過説明を行ふか吞くは八日これを謹闓に法案として提出する態度となつたと

れを示して原解を求めて同日午後全世間脳を聞きこれを最終的に決

聴悪ならしめることを聞られ、遠に御退位の決意を顕識の避ばされ 御立場に陥るべく、且この上御決定を巡延すれば絵々國内の時局を 假令御結婚を御跡念謎ばされても今後一國の元首として願る困難な

従皇太子に附屬するものだが、ヨーク公が皇位を御承繼になつてもヨーク公には皇子がないのでエド

旣に國內機關の準備完了

放送されることとなり、旣に國内機關はそのザー宮から全國民に對して御退位の御决意を

れることとなり、

が出來たと言はれる(寫眞は英國皇帝

ボールドウイン首相の議會演説後ウインドン六日同盟」確開するに、皇帝陛下は

般國民の愁色は次第に深まり、六

の利益が角威される場合、米洲各

一般、盛に行動自由の一般的個利を一のと見られる

ドリツ

五日の旨民意胆節にて

なく汗頭の至りに塔っ

【ヴェノスアイレス六日同盟】 菜はアメリカ政府の中立理論に 米洲平和解議において『金米

をもって「智散米洲區 龍委員根構調整のため、米洲各國外相、米洲各國別に現存する諸平和 い路旋調度を伝統と 面が近く色々御迷惑をかけとして皆さんと極めて接觸す、私達か師解長、参謀長 明鮮軍 基礎)は一身上の自分は老伴で佐枝は〈朋

議義符の即行をはかると共に共通一参究する。同窓は各國代表一般にし鉛事の平和的解決に関する現名(容談した上相互に協議する方法を

野平北、吉良威南の各國境繁祭部 政部務務司との間に駐鹿一如を目以と驚険闘東軍政天中佐、金非民 は日留護と併行して筒井威北、中

ては大いに多力し將來共に嚴めの規律と整然官の規律と確定していた。 響祭部長宮部を前に三橋整材局長一

大野總監 あす飛行機

谷島岩道を空間八日午後一時四十 て新京へ

上意を下に傳へる郷

の先まで探し廻つたのでございま ゆる、概さんと一人で、あの連池 それこそ何んとする気がやっ の隅ででも心中などしてゐたら、 「申談ないでは例まねぞのあの雨

攻防戦の戦況

に関する副肢を行ひ、十一日午期 緑江と豆頭江に架設される国際個 中飛行機で励任する豫定、なほ天

対防軍は叛軍所繼のドイフ人三郎
 対防軍は叛軍所繼のドイフ人三郎
 対策軍に臨るイタリ語を設立
 台を射落した、但してドリフド
 前職経ば過去二十四時間大節に變か
 化なし

智された場合保険館出の歴史は一

[ロンドン六日間盟] 越冠式が延 保險會社損害莫大 製冠式延期すれば

マドリッド六日帰盟 マドリッ に御撃を加へ市氏に死傷者少数 に御撃を加へ市氏に死傷者少数 上左の如く破役した。

事質相違ら極め

支那側が會談の經過聲明

山本企图整然那長 七日入城王

同日入城本

天坳玄黄

あに何時もの程度。犬は強へ てそなた。遠は何んと答へたのち 氏那様のお手飼の狆が逃げま!

「狆を探しにと云やつたか。」

べ・ウ大に活動、今度は

きますまい。竹敷を脱けて。 この歌機があるからは、小へ行

にはいい

てゐるばかりで、 なく、たと暗い深さが行手を辿つれた彼の中までは到底違るわけが 一般、注言はお 見ることは出

助を収めたのが此ポプワイトである。属正貞な本人が能くど云ふのだけ、結びの資務であり奉仕であると心得其研究に没願して難くべき成とが常然の資務であり奉仕であると心得其研究に没願して難くべき成とが常然の検別であり、近来は全く森鷄の大家になつて、其方の御事種別の絵の大家である。近来は全く森鷄の大家になつて、其方の御事種別の絵の上の作りを表現を表現して打切ら権な順 から必ず効くだろうと信じ安んじて禁んで飲んで居る 愛賣元 ボ ブ ワ イ 總代理店 新 直 (説明書と智話集階呈) 京城府南大門巡二丁日二一八番地 井

ൈ 京城ボブワイト普及社

販賣所 雜貨店

【上海六日同盟】支那側情報にと 蔣氏西安に到着

退位の御決意を ふ放送される

に行幸啓 天星 皇后兩

ハトン氏はベルヴエテイヤ宮か 間が設了後もモンク

製協議を遂げた、閣議は前後僅

開催、首脳関係出席のもとに

ン首相は六日午明十一時タウニ

すべきことを強弱してゐるか、ら引けば政治上田としき大事を認起 皇帝の深解さへ得れば電光石火手

時警察部長會議

九兩日開か

定通り午後五時三十分全段閣議を一る音である 分御考慮の時間を

する

耕衆首相官邸前で

全部臨時緊緊部長頭融は入、九の

六日夜の閣議で決定 |陛下の御決渉一つにかいつてゐる|

一ついて何等決定的公表はされなか 語においては皇帝の御遊は問題に つたが、仄聞するに政府は一 【ロンドン六日間盟】六日夜の間

御者紀の時間をお興へするに決定 すに時を以てすれば冷蔵に事態を 決せられるやう最前に對して十分 したものと云はれる、政府では京

金融統制その他



武传從長、暗暗是而因大大、 唯下には年末温度期のため七 日屋女は長以下を聞へさせら



提腕その他重要変数を含く
を書間に、群選産業部所の
大野或狩錦跡は国際架路の

「米だ決定してゐない、日間に決定されたが堪所、 問酸に伴ひ製鐵所は

のでその工作に行くので人の問

世皓下御返位此が過度化するに伴「長が銃殺害となつて阻倒、今回の「さらに 蜂縮一如、 無数一新が 强」となり、溶池圏から特に鼓撃部の 質論は南部省、大野総務總監、三一調されてゐる折解だけに質疑的容 もこれと組織的な重要凝索が中心 第一日は午町十時から開始し紫流 歌自三語奏務局長は雅事督祭で戦略訓示があり、次いで図 島一萬祭祭官の態度、数倍に崩れ とになつたので、本質量の成果は **日総督から非常時局に直面せる**生 **で通じて鮮盛一如の强化をはか**る

成果は各方面で注目

も致したり。蘇駿内部に平和なもかんでも縛つたり殺したり打換東軍幹部数十名を検索。何で

米洲平和武部着々進行は目で

東西を通じて言論関野の世の 恒例同情遇間、同情するは

は、そなた鑵、再びこくへは入れ

てして果女は何んと云やった。

つて行つた情報

かを、二人は眼

お餌と注言が辿 力れた下の道を

を選ゑながら急いだ

の眼の疳へ突きつけた。

「間に透して見てゐた趣は、おころ ふと足に觸れた簡を拾ひ取つて ませる 雌にお

元つ、謝かにこ かに照らす星明りも、間に梱を重 ら、竹敷の中を造した。が、わづ おころは急に概を手で聞しなが

許ないは、一人を掴へて連れ民ら

つた。しかし、いつれにして

なんだこと

それもその街であらう。この時 一人はもはや舟

切名罪ひを鑑し、盛力、連絡を

13

二ツの專賣特許を持つ

ウッラの精を築化して

作

なに、南人の行方が割られ かに走つて行つたる 保 世禧

く常の中老に立遠った梁村は、今 納戸から部屋へ碌ると共に、前 「おころ機ら

ボブワイトは

<u>(H</u>

失ったと聞くと、慰を鍛るて睨み」いつこへなりとも行けませらが、 ろ、攜の二人から、庄吉お英を見しの出来ない御城内。お遊の内は し方息せき切つて戻って來たおこ | せぬ。何處ぞと云つて逃れ出るこ 「大丈夫。その御心配には及びま でうわえる を迎る逆血剤であります を迎る逆血剤であります。 を迎る逆血剤であります。 を迎る逆血剤であります。 ボブワイトは細症後知の を迎る逆血剤であります。 ボブワイトは細症後日の を迎る逆血剤であります。 ボブワイトは細症後日の 純正蛋白コロイド劑器

先程も旦那様が仰しやいました通 り、二人が心中でもしましたら。 出來ることではございませ口。」 「それはよう軸つて居りますが、 鑑がなくては 不自然な文化生活から来たる各種のピタミンA、B、C、D、Eの欠不自然な文化生活から来たる各種のピタミンA、B、C、D、Eの欠 ビタミンの全部を含む ボブワイトは

人を取出して、もしも二人がお遊

「はい。申認がこざりませぬ。」

これから先の樂しみを夢に見ながしませう。命の惜しい若い同志。 しませる。命の惜し ていえ (、何んで心中などいた つて。...... 苦労をしてゐ 一何はと あります

で含む综合ホルモン別であります。 ドブワイトは性ホルモンを高等く色々のホルモンの選取が必要です。ボブワイトは性ホルモンを高等と含む综合ホルモン別であります。 綜合ホルモン剤であります ボブワイトは

ボブワイトは シチン 育 であります

多度に合有せる世界無比の斯契利であります。多度に合有せる世界無比の斯契利であります。

抵抗力を 増大し、あらゆる 病毒を中和する感を 明噺にし、筋肉の 能動を 旺盛にしあらゆるボブワイトの 服用は、生活體を 平滑にし 頭腦

到的滋湿劑にして

|特に健康及他健康等を求める人等 を欲する人、力量と必要とする人、整量を望 む人、老中年にして若返いた人、學生の勉強

ポプワイトの種明者江内春朝君は出里以来の友人で熱心な幽家である 陸軍中將渡

が先年来源を飼って今に立むいた家である。ボファイルがあった。 が先年来源を飼って今に立むいた家である。ボファイルである。ボウスト は成立の日本語によった。 新田本島におれるがは京的登壇にの計算をした完成品だと動してある。 ボリズの性間ない 在機能で終期後がの数音流出郷である。 ボリズの性間なでの説明を見ても論理な出すの数音流出郷である。 ボリズの性間なって の説明を見ても論理な出すの数音流出郷である。 ボリズの性間なって の説明を見ても論理な出常果態のある遠遥側と信じて全く意外の出現って だと思ふ。 毎朝君は元來詣家で特に勘賀には茶人だ、私は出來るだけたと思ふ。 毎朝君は元來詣家で特に勘賀には茶人だ、私は出來るだけたと思ふ。 を明君は元來詣家で特に助聞とは茶人だ、私は出來るだけたと思ふ。

海軍中將 森

ト 本 社

房

和だった、去、昭和七年平上部カ

7回の事情はど本町署が話しんだ | 東台型した結果、『嬰は羨走中の

要似當時項に極明の手を近れて行

り、進及して五十月目に至つて渡

||快は脾脈になったので安心して呼。||野暑では直ちに石。||編弾から高水方を晦重してゐた渡冽明。。"己言事 ||透は自自した、常耀して暮んに本

台福氏の全貌 一姓は丹羽氏

取ば電話を利加して時に「手に逃避された」

かい高水せんとす。利が、これを

山手女は校を学業、京都の同志町 の連子李訓桜(元)とて数平期神戸

大學 にも 學んだインテリ 女生で

内地看場に駆換して六日夜京城縣一蔵北壁城山内東和副李典蔵氏太女

||||第二一環師金も帰切りとなつたの

本析では福州時代費から七萬

京城元町の煙点園を襲ひ、野便断一時生気城地の法院第四號法だ

哲殿典元に係る公物は七日午後 一 言渡しあり

有

晴

が一番だ

城明治

同和話面

1572:4037:**3**939 2088:3688:**3**939

OJ

唐 城 曆

本町二丁目

金組つて捕つた弧循路人事物の技

解外支出を要するが、本府特別的

龍山の强盗七年

子必要に辿られこれが経費の像 理特のため新紫目史の態度配置を 難域に研算回境的近に設立するの

別勢にあり、

野様江岸一帯の治安

一
すれた
くに個な
飛行を行ひ、「戦は一
危险
・
側加人方は
終気の
折り行き

に上った、或は過霜の中に海上と

解調圏内兵共和党の他野に伴ひ

村匪費捻出

一概、一路パンコックへと第二編記。 「根据の間を置して数北飛行場を出しば六日平前七時四分(内地時間) 師は六日平前七時四分(内地時間) 師の立びをとつた、組織面「勝壁」 クの意びをとつた、組織面「勝壁」 ク

一部。近年間廿一時間卅六分とい ク問、四千九二班で口を二日同

解経を創後して由羅地繁北に一夜 に葬着、かくして東京、バンコッ

牙城驛頭で御用

遂に東京から桁引

一び丹羽の店、京城黄金町二丁目の

五年間巧妙な犯行

石に職業開始に応り、姓を山崎と

られ、彼せれの一駆戦り、柳田一数、調べたが帰轍の駆になると知

ヶ月以上になつても確認を悩めず

|流家庭を欺く

く賊遂に就

佐殿の阿幹部外底にら十二名を引

だ本町第五野/洋南京長、鈴木原華収めて住みこんであるのを開込ん

徳力·石福の主脳者ら被疑者十八名 地方決院檢算局へ送られた

八名は七日午後一時一件書類と共に京城で京で引致、東興で中の國一駅常を時げたので、その2」同『石稿』兩店代表者なら、十餘名を京り日東京城を町巻の頭線により四を収録され、京城県街町、日は東京城を町巻の頭線により四を収録され、京城県街町、

主なる送局者

で、『佐姓丹羽』▲徳 といふので同語では「郷石銀だけ石 稲 祖長 石 稲恒三郎」たのみで政策をは開始しない

大綱関を無にして決さず遠に同八一して鳴らした役兄母を部所で揃 質問節が行風に手ぶ麺づたと見る|全貌、即も今回機能をみた去る七 明治町の雨一て取調べた處強に恐るべき事候の 當時、その手先となって性難して

苦心の末摘發した

全貌

第4の二星節後三位・韓位を負つ。射しても迎及の手は依然道のいれ、節木が斬その御門法閣党歴史を思っると反応や民間りするといふとを 短記曲で英大た金塊を網絡してゐ。でから大ヶ月間、本町第二人間法。まで列車食堂の数り子をしてゐた。○二十國際、**常飲の係罪もあるの** たことに戦明した、一方丹羽氏に

が問題から買っ子は必ず夜中にな

本職の自動車型領手を休んで七日、武量上の曹君) 三部はこんが、お野犬人の相手役」に先う京城まで出て来て、吹き込三部はこんが、お野犬人の相手役」に先う京城まで出て来て、吹き込 待合室で捕はる

古心の摂丘、樹梨の末逢に武局を した本町署司法主任二見会部 質に苦勞しました。しかし結 二見司法主任談

努力の賜だ

ゐるのは新義州、安東を背景に置



環さんに見出された

曺永恩君東京

晴れのレコード吹込

クターに迎へられて、近く吹込み。を眺ふ日を描きながら、今はせつ。 算だいコースをとつて見事級北か、時十五分自宇前の井戸監で決 ら海上二千キロ、陸上七百キロ会 張りつめた氷にすべつて井戸 界を挙はれる難遇行を取けてから、世代成来さん。こは七月十旬十一致を避けて高空に出で、時には就一般一一京塘花河町一一八金甲河町

○六月 京城孝子町駅 年 氏方に 京城城北町一七七級共長(ごと)は去 **資上金持逃げ捕る**

ガービス强調 越道康生會か 路者で埋重中、六月夜昭楮町で運 生命では、年末年始の多代期に俯 倒された。野上

若が観音堂で八日は午後一時か

全般天氣豫報。

設議を作成してあた時代の女気が インテリ女性

| 「曜ました、七二朝指名手配中| 金布(三)に六二夜間を築んで行方を| 電金井二その他を築んで行方を| 日二九五英環境がに下宿してある

電車の乘客怪我

の一般で数百役がほぼ、結ぶする した雑味単似があつた、以来日職・八九郎、 女かあれ、 つるばから土 とて金一干五百組を探上けて派走 出て来たが二、三日泊らして既へ一様の能財事他が顕極するので知路事になつてゐるが、家庭の都含で一き本緒宗智恵是をはじめ各所に同 7九月上旬を城内政町製品第三一費用の不足分を一寸立巻へこくれ ◆一九月からの犯行

時間卅六分

ふて辿行中。 鉱泉行電車の窓ガラ

が前馬山に代木を積んで軌道に沿

りで始処に第岩面島田島趙玉地

一夫を罹らしてゐるが、今度

なもの田観光局長はこのすば

麗玉 は雑七尺五寸、龍田

らしい出来望えにホクー

|ならべて深入を照き、はては態症||まんとすのところを膨慢に関した||日午後三時四十八分)目担す疑惑||東京内障単形行動を出版。第一名土宅を呼出しては勝手に告頭を||に難楽して京城麟から別地に雲込 午後至時四十八分(シャム時間穴 號竜に記集定成された、五日末明||ます。||と唐愷り、岡家の京語で架||六日以春城入が内地入の上陸離入||飛行線「勝寒」は影視の如く六日 軍しき心域を吹して雨風の割別器|| 【東京治話」朝日のシャム親語大 シャム国の首都バンコックにその 國産機最初の快記錄

際の大使能を帯びてゆく一 くに桃木・餅れて砂切、栗客の橋

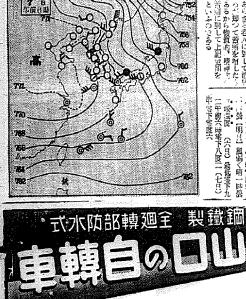
右腕不自由だ 顔面での他に着握「週间

氏を相手に二千四百卅回の最高 何府頭塩町六一七根日乗さん は同仲町の川口接院長川口漁夫

表 1 年十二

以新聞







森木・黄生像









舖本刺名是 店商郎二大井櫻 町喰戸。松本日。東京

市阪大 一通西比本場川原東 **所作製・島見** カハニコ北西電

盖

社會各省本大

館內沒料各73 電話本稿4366-5906 區場皆口京城344番

何潤各品何条內進呈

品類Cinに係る数人死體也果事件

大師】何州那異谷血難風出度幸

四年の末刑

公前は五日大印地万法院工順政

言渡しは來る十一日、再쒽の內

たが検事は「質質性を求称、戦」「主義性」安美を結ぶ、「終行時間」る、その結果的近のギャーター下上を終り関税事立曾の下に既然さ

手形響が進入てゐたが落し主が判験った十四部幣が三百三十四と約束

らず本署で保管中である

連子殺し

鬼の母親に

柳手を蔣大君が疑起、直ちに瞬間

衛吐き出された後へ片隅に無軸

出的に国行出たので係ば立首の

一物(か)と大正士三年十月二十五日一五日十後四時軍韓山郡新潟四日谷・里地先にさしかゝつた臨殿路上に一かつた

仏鐵橋の異變

お行儀の悪い鳥の大群に

迷惑至極な通行人の被害

の珍話

市味を購べると、手の切れ、や

解削行きのベス関北五二〇戦が

後三時頃語店町の元町方面か

脱密所に停車、確心の頻客が 問題き忘れられてゐるのを選

不埓な人妻

十一日目に

やつど就縛

燃だしい足どりで混合つてゐる五

西山町の人出から形然パスまで

され、なほ子供の端元や左手人 を指が腐敗して加更を似ら替か を指が腐敗して加更を似ら替か を付けが腐敗して加更を似ら替か である。

【大叫】ぞく厳末な分も遊皮を加一

大邱の蔵末一風景

訟を五月海州地方法院に提起した 願みず夫に御野を加へ離州を強要 を知つた夫は屢々悲に状態したが一の紀族部帯元と仲よくなつたこと

了るので武道はやむを得す雕始家

發育や運動成績も

齢に狭つたので今後の中態型長の入場試蔵は寛新と國郡のみ動の成離を整術試賦同様に探黙することを主観とする二大方 することを悲調とし、一〇人學試験の平易化(二〇起音、運 して初時朝代の版本層尊を俯瞰するやらな極端な軟靴を脈翼になつた、大島地務職を離職の結果は試験の側角観点に届近になった、大島地務職を離職の結果は試験の側角観点に届近に表人態試験の細和射難について近く其他的に認識を行えこと な人型試験の級和對策につ

試に加味する 子を持つ親の惱み解消に 慶南道で試験緩和の對策

修身も加味し、これと共に認致と運動の振繁は壁夜野一指書に試験科目を展定せずロ顕誠間その他の形式で地理、際使、 つてゐた鄭雄上、敗善された武威曹胤の張果については早く「いでも財威の平島化と恢信教育の形別に常に影論の中心とな 開掘し其盤的に取決めをはかることになったが初等型状を配開でも人理試験の實施方法について運が開席の大路設置を して一部人學記録の決定撤を見へる大鍋が決定された結果、 **も各方面から異常に際心さをもつて注目されてゐる**

性しからぬ男 警察を種に 運動費稼ぎ

薬務員の喧嘩から

列車に乗り遅る

電車を止めて口論に熱中

平壤府電の珍事故

日夜ご用を釜山岩小日向形車に探知され四 記言五十嵐を祚政してゐた事實 群可されるやらに運動してやる」 は釜山署の幹部と思想だから早く 金山 府内牧の島城仙町金黒啤 一群し運動金として十億軒から合 布望する者を既前しては「自分 (性料理量、飲食店にどの答案

煙突火事二件

十時四十六分平振時間前打急行に一人や官民多数が乗つてゐたのでは

乗り避らせたといる事故が観生し一ぎはます~ 大きくなり待てども

動かれ電地を見棄わた一人の緊答

上も序正させて緊然の大学を同夜。同夜は國鬼部院遭遇のため伝統。金山り大事との口臓から四點の范則を十分以一次た四點の竜門が立住生したが、一般の非常調・質感」とある

四級中、佐の姫務は昨年春から夫|曜山から反跡を買つての韓途同郡・戦敗・以來三女を報げ家歴開留に|里茂夏飲の悲女田吉順さん(**)が |大興面萬申里呼中酸で兇器を携へ||【上瀑】五日十後十一時五分頃前| た廿四、五歳位の男が脅迫して金一内本町三九五味館子下温の歴史か

「健子選走した、個人は韓山巻で披」「選玉坪除りを嫌いて顔式した。といる男は辿びかけて走りたがらいて近づいた通行人の為め一物もつけ徹太に努めた結然員四十一分。てしまつた、電心を待つてゐた契。 といる男は辿びかけて走りたがら 少年大火傷 | 時に五日午後十時三十分ころ、場」が保政にその非常総接りを確認し 「乗山」大日午後一時十十分所内| 時に五日午後十時三十分ころ、場」が保政にその非常総接りを確認し 「乗山」大日午後一時十七分所内| 府民の非職の的となつてゐる――

線路に岩石 新鐵線の客車脱線 乘客は幸ひに無事 **糞の駒ぐらを捌っ塞性を見望はせ飛び乗りヶ何故停車せんかっと車飛び乗りヶ何故停車せんかっと車**

【半須電店】早園のスパイ開幕に

で目倒き取職ペ中

りゆし不可変命につれ込み双方が、 「動脈・形態行ぶ密であると呼びつく呼便・間を一関等人スペイが駅・個の軍 「側肢・形態行ぶ密であると呼びつく呼便・間を一関等人スペイが駅・個の軍 「一般性を関へ、大・の場合の大・では、一個の軍 「一般性を関へ、大・の場合」を表して、一般では、一般の軍 「一般性を関す、スペイが駅・個の軍 「一般性を関す、スペイが駅・個の軍 たので形撃もこれに脚戦を停留所

要所から表達した大同塾では数日を命てくめると云ふ道牒と裏頭の

談合事件

の古典に追ひ返さうと兩地のにら み合いまで惹起しさらな形勢であ 脫線電車公判 重な収測べを行つてゐる 例の名物男

するところを置もに薬庫、月下厳

【建南】顕南の印刷業談合事件は

最後の取調べ

「金山」去る九月卅日の防空崩潰 【大邱】 関の名物男。脚多の上喪 《上長さん》

長野したが連れ子の故に成め「成無くかたまつて夜頃けまでねむ」 関着が砂線具で一層けやられたや「の鳥の部はつい鯱近まで新緑州側」を宿に一夜を明かすことになった。 のでは、その後町里の夫」 り見事に添喰いをしたやらに一面 裁が降下して来る。 深に帰入方の 民歌を選出してみる。もと()こ んどはギャーターに移戦してこと 高名が連戦手動間院に係る表際上 ばかりの長蛇を建しておるが、女子を対象、女子を対象、子子の島が行にとまつて文字通 いは子野鴨といば子教派のでらに ククリしたりして降たらは関係を顕立している。 あるが連戦手動間院に係る表際上 ばかりの長蛇を凝しているが、正常とより都会はいるとよりな 「一番」におよってでは、10年では 方法院開出物事係りで開発される一今冬既に八回の等に渡つてある 總東牛八手七百九十一頭の中干四 【園城】一時間既を極め頭、壁風

と眩の面白さを融つた

雲突~怪漢

臨津江岸の冬姿

市中を荒した曲者

大雲は黄海道全般に亘り一尺七寸「海門」四月上前九時から降つた じて僅か十三国であった 然した幸ひ死亡率は個 「八頭まで三侵され相當の高率を 黃海道の大雪 交通事故續出

馬山でご用

鄭殿で五日が明豊山面大回旦書襲。の過郷から、この火災のため丁書(つけすぐ消し止めたが挺郷は直め)を登録し年一頭を使いて観光した(二時半泉火したが火元祝方の二味を中の属大興戦(沿明地京男漁室の) 撰郷は叙一千五百璽、麗郎は増業(鑑賞して)のを同じく消跡賦が駆け / 火、 一釈師であつたため客館二様 / 衝観や既和田力三方を半塊して同

殿のお祭りに行き不在中、火の為一れも類別し那壁に送つた結果第一班顕著は家族四人連れで同里の鍬。には五家族同居した沢とさいて何を含まり。 - 1985 1、1

護婦試驗 慶北產婆看

【平鵠】五日夜府電影物域と釈答 日論をはじた、これがため次から 急行に衆国れた釈答は々府電影物 死傷者二人 六の兩日施行された産婆、岩酸婦 【大邱】題北江衛生認で去月廿五 合格并發表

叉化と共に益々殖

くは後天的――郎ち不自然代は、一微彩の好息が出てその他のが出で昨には光天的のものもあるが、名一気後恋を散りなくてはなられが、キーナレース・オーニー・ では影響であり、でかいであり、に信頼するのほかとつまり現代だは、物的にあまりに 関空水治器」れ強々この傾向が悪だしくなる。 歌等に配成し影響不全、機能感苦しな。それには世紀的語の、性情、駱鹿部毀嶄、島原長」は容易に目的を地す れ益々この傾向があたしくなる。 に陥ったもので、文化の進むにつ

これに成し、敗れの民族の歴

を形成するの念態が弱く、これを吹を見ても、その風焼時代には低 神能として如後、石俊、木野等に

現はし、崇敬の前とした事態がい



かりが、男性を表現した配もま



中、蘇経側の都合により、一人切(は注目されてゐる)。

固城の畜牛流感

漸く終想し農民は安堵

罹病率は一割二分



用絵の武器だよしと 来のばかりか、野子としての政権が生が暴れ出した時の 青森敷を人態に突突することが出 南の動をないに学教であるとか出 同一人記明主音を密切をないなくないである無い、 ないのかもおはない 是非御歌あれ

◆······ 「それあキッ

いわれだろう

◇ホリツケ眞空水治器 登 錄 商 標 金四回 3年 原田郷四二銭 の代金用換小包は ・木リツク包至安全2番の代金用換小包は の代金用換小包は の代金用換小包は 電性を属する町土大 麻斯療法研究所の効果に受けている 麻斯療法研究所の対象に関するのです。 東新療法研究所 醫學博士五十餘氏 實驗證明推獎 金五回 岩 州 抓屁地

▼原始時代と性崇拜 り に関係するのほかはない。 の それには中枢が関連であれる。 の それには中枢が関連であれる。 の それには中枢が関連であれる。 の 後に髪、神理の部であり、 の が大変組 が りの が大変組 は いっとのである。 の では、 の 時も放住することなく逃かに武

勝思で、を、一時の上連節した、一で働いてゐた駿丁李永世、とが適一版战は境突の不完全から |廿七日の大興血芝谷里梁聖珠 | げ場を失い火災をくいつて脱出し **登院に入院したが生命権馬である** たる全身に大火傷を買ひ道立乎無 不審な火元

飛風里の怪火

万の帰撤事他及五月二十日、八月

- 日の量務事性に硼骸してゐるの

ないかとみて嚴重政閥ベ中

で駐記所で取調べてゐる、摄密五のない便所から起火したといよの

大に包まれて無效の燃死 富士生小戦校小野安村良一さん(で)は猛 節動画に煙造の火が引火したらし 能外交政論木巖の母親ナッさん 、指密目下取職へ中であるが附近)は背中から後頭部に大火傷を育 たが生命に別様はない、酸因は

釜山の火事

逃げ場失い

たい値がさらせしめるか?

はじめて我に返り電車を助かせた一ら出火し同家を全席し職家の度量

ごんだ嫁探し

平壌驛に降りたところを捕ふ 正體は某國スパイ 署で召喚、去る四月明元山方面か り離して留置を免れてゐたところ 日夜一同岫宅を許された後、羅南 他順係者の敗湖へ終了で去っ三十

た生動町東京副島田石店域、生動町 岡県使以外にも何らか疑惑で激んで生動町東京副島田石店域、生動町 岡県使以外にも何らか疑惑で激んでは、 取調べ大組一段落を告げたことは、わけで、測点整理等の職機から大 既報したがこの専門とは切つても、職本月下旬終局されるものとみら べでこの事件も近く大語めとなる。 収調べを受けてゐる、なほ同人の ら歸來後直ちに羅南者に留置され 合談子ざる結果が那くあらしめる

銀を吊っのはどんな「然然に続け、結ず保証を記売等で」を置い、関所の映像さんが短」「機会に現代人の終くかさうした」は前でにも使用している。 ・ 作は質に 民 既 変 やの こから まずして 明かく にかったいまで り、 作に臓にある 変がないまで り、 作に臓にある 変がである。 まずして 明かで のである 一部 とがわかる。 この こから まずして いっかい でんしょう かんじゅう かんじゅう はいかん いっかい しゅうしょう しゅうしょう しゅうしょう しゅうしょう しゅうしょう はいした とがわかる 一位の正成となった。

各帝國大學病院指定常備藥 活動の源泉」 東京日本編集本町 大阪市東西道県町 大阪市東西道県町

こに行きたくなつたが、そこに融」らう。殺は解徴だから密銜だけは「げならなかつた。それは大きな書は漢の家へ行くで斉や、すぐw」一つとして後に立つものはないだ。目には私はお爺さんと願れなけれ 初の戦は殆ど日本と日本人だけ一るから 日獨協定を見ての思ひ出 けは適速が若の國よりは進んであ。取つてよく歩けなくなつたお爺さ といつてくれたのである。三辺一川のを見返ってゐた。私の楽つた馬一

萬國博を驚か **獨創的な出陳品目が決つた**

|十二月中に取懸めて砂塔丁二段以| なるであらう 数した四十歳點を決定、いより、一つものであり、四門学術の繁美 |選出の際要を指つた記目は、何||脚士の趣明しこう含じるこゆる金のりとなった

心数千法(孔货約

物理學 關係

〇(マガネット語)本多光な影響 士のネオKE鍋 三品総七順士の のネオKと郷、三島堡土原士の一村、如何た一様に選丁といる材料力学・エマグネットの三壁、何れも を見え、様に選丁といるがわのののでは、明明 三島堡土原士の れ、如何た一様に選丁もその内部 界上龍(研究) 师

◆ (張朝司) 行本。福岡僧郎士の

取つてよく歩けなくなつたおがさ という歌がする (最近はスウスマボテラホラと降の日であつた。年 今日あるを眺めてゐた哲人だつたがチラホラと降の日であったおがさる という歌がする (最近はスウスマボナ 爺さんを思ひ出すが、スウスマン 士の世界的説明で、特殊の切り方 によって程限による振動を微調な

の恩異化學上の護切で、之によつ

◆ (赤外線色素) 唱形輝太郎博士

關

◇ (転金筋資金法) 浸出平蔵氏の

窓際に立つて私の出跡する

ン翁の建てた月福超)

別語を担まへて 「**刑由をきかせ** ◆ (楽殿) 鈴木椒太郎門士のオリ 往射、カンフエナールの東大震學 ザニン及び副作用のないカンフル

藝

御時勢と映畵

翻明による特殊顕微鏡で、特に對一映して時流に乗るファッショ的な一次大いに笑ふ」を送り出してある ◆ (スムブ類菌窓) 鈴木旭 (氏の

他のシュレージンガー脚での同様の無質を進むに知るもので、海

[三田司] あれが趣があつた 「【か君] の今人は至く資が短かい。合 いな、変合ひも題かい。

ら聞いうちに超さて芝居見に行つ一部はお茶屋で食べるのです、幕の「鈴木」私たちの子供の時は剪か「桝で悲飯を食べるのは中で、上の (質が短かい)合ひでも長いといふのです

日本カメラ協会

(小村) 今の時間でも、もつと画

の候補作品の中より審査中であつ 郷)作の『彼女の出疎』が常選と 決定した、荒木氏に明治三十五年

二十分で作るのです、三十分の幕 | 京、博文館 雄嘉記寺、監役武吏武

一つた成割日夢男監督のため女性を 主題にしたトーキー・ストーリィ

は全國より歐紫して來た六百餘版

悪くなると駄目だ

ラチオが音機は斉、英、米の出品関心界の智能を動成して製作中の

「あたし、ババやママのお家を則

フリーな立場から自由自在な近 ヒアルト・アングスト技跡から、

纏ふはみじかき羅 舞姫 - 白鳥省吾 ンミ取 バカマ



栗用 クレームとその姉妹品 專賣特許・パパイン酵素應用

一動装置その他国際自慢の五、六脈 その他、擬別自帰係から語受可 現沈就明を受けた結果、大いに刺ザス濁速のカメラマン開館の組織

教館のヴィタカンファー等教師法し、毘証明をすることにたつてあ でなく、一々その質地に性能を示 何、之等の出品は別べるばかり

郑面宝一人

最上醬油 素晴らしき景品 最上醬油 空前の御添物 一年 中猪 一般低に 一升瓶詰 人特責 八立鑵詰 十六立樽詰 有田燒茶器 一組

十二月末日迄

御進物用に

社會式株造釀料味需本日

春い男と女が飲んだり飾つたりす 【三川村】 「程、披露宴といふのは馬鹿げた のでせらか イツに來て、色々珍しいものも 向構はないものだよ。 君はド

と 實際、内心私はその披露を が、馬車の中で、お爺さんはまた しんなことを言った

吉良は家邸の大伯母さんか何かの一郎ではない、

式が終つて、いざ政路裏だといと

からんか、高家の服舗はあつたも

思臣殿の判官のなりは | 互にああなるのは人情にむを得な | い手合の雑歌装置はおやりになり 二田村篇魚

【三田村】戦用かないからでせる 【小竹】孝人かでつと勝手なこと

式はとても張磁に行はれたo

い昔の芝居

い、晋良は字など巧い、長矩と被一ませんか さうありさうですね

温等の馬斯は、結局教育型に着し

鈴木 南陵

御使ひ用に

一鞭にニツ組丼 組

個

れ、こくに技師近代文化の降を設

の翻結につた。確は「週間目の吹」いであるが、既に日本維ま集定さ、館頭鹿であるが、その大徳を飛籠「みの少い豚とれが感初の暇のお爺さんと私と「ル塔下「帯の熱地に弾劾推説を急」れも他文明図の及ば良優新、海峡「願中報志」





寒氣襲る



|老四出づ(録||禁)||卷一(||詳|||数)||卷|| 一起於缺一卷二一(碰掉時)

料十六十分を一冊を一年分叉は合 前金申込には『朝鮮語は殿間題誰に器文集』(定價)頃

ある。乞ふ、愛讀を賜へ。(裝幀中川一政)

の指導機關家諸氏執筆

(見本進呈)

新 刊 發 賣 四六 判上製美本 一册一侧八十銭 送料十二錢

不可缺の要蘖 戸りは 感胃、頭痛、胃腸、榮養に 組体健康の必要季/

定價類四十錢(提明期)調腦的財

7 Ð 電話(洗)1960当

補血弱比劑 此》有

とつぐ際に、盃を伏せるのは

費出し中

半煉の仁丹歯磨 仁丹十銭包すぐ進早

小楠瀬正澄 吉澄

行 振替東京八四〇二番東京市芝區新橋七丁目

柴 第五篇

者、続き志願す

インシーのでは、これの数者

舟

書

酱

てゐる。本社は現歌壇各派を代表する六氏に乞うてその自選

レンジン用クリームは一番簡易な洗顔用優秀

であります。

化粧落しに 肌・手入む ジに はりつ間プラスノクララク

洗顔や化粧値しが出來ます。 ●御旅行に、外出先きに、随時 が開き汚れや場が特別によくこれます 、外出先きに、随時に簡單に 使ひますこ湯氣で皮膚の氣孔

お寝みの前には必らずお使ひ下さいお 眠みのあいだに皮膚を美しく整へます 生地から充分に整へ、お化排をしますこ湯や石殿で洗剤し にはまこさに遊くきれいによ よく出來ます。

秀 なるこの特長

十海三野

千字代野

があります。

の表面は勿論皮膚の深部まで活作には脱脂綿でよく拭き取るだけで肌は脱脂綿ではく拭き取るだけで肌 します、特にアレ性脂肪性の方 くしてタオル、ガーセ又

子門喜な

學周五個

斯うし へ指先で軽く一面に振り となる また こうこう てお使ひ下さい

する美容効果をも兼ねた優秀なクリームであります。のみならず榮養料の配合によつて生地から肌を美しく ームとして、大變優れた清淨効果があります。又それなく皮膚の深部に至るまで綺麗に拭きとる洗顔用クリこれを使ひますと肌の汚れや、垢が肌の表面ばかりで

とし農木圏へられる中央策と共産権との受納及び替付抗けの第一級に翻算犯罪を並だしめ以て開軍を治認せんとする制策があるが、蔣允石匹が興奮犯よりの提合を容れ近日難線の統一をはかり、翻束犯軍の共産軍退納を解き同軍を報道に移駐せん 移駐が限目とされてあると傳へられる、翻光軍は影響が、緊要者はおける影響事態になっ

介 に附近を極したといせれる、西庭には日下手要忠、朱僧臣、 和 る、理に程立との機が見下中央軍事のの経済地方 で共産軍と安協及び背東北軍の経済地方策として 理化するにあるがこれが具體的方策として 理化するにあるがこれが具體的方策として で共産軍と安協及び背東北軍の経済地方。

輸入税の規定 これは内政上の問題に政府の定め

上に當然密報停止殊に直轄の密建取締の自由は最新適正な調整をなすべきもの「國民政府が開発調

の通信は脱り貸すべき消息として形成成形を表明してみる と報道してみる。これは各域例に對する支那側の最級例に直り と報道してみる。これは各域例に對する支那側の最初つ非公 り近 気積度性として主義する遠端を表明してみる

2一連支作目中国 平等互思の機師の下においては既

一向差交へないが、これは外國政府より要求さるべる。 節合では一つ向差交へないが、これは外國政府は「私の技術者を 西間として招聘して一つに続きれるもので國籍の如何を開いてい、 日空領域が好いでは近きれるもので関語の如何を開いてい、 日空領域が対している。

排日の取締り 関東政府は一再ならず那交敦隆を

共産軍とは突筋

蔣氏、抗日第一線を强化

でんとしても却つてこれを機能に

既にあり、しからざれば修好教籍 **炎州の組過を越去、事態の根本** 換は日本人に對する盟府情の消

國民政府、經過を發表 舊東北軍を移駐し

度の耳飛ば、地理さで存たればな、に及ばすかくすで陸重に観覚な絵―」、進星短動に騙する件通過してもその實施は昭和十四年」らぬのでは、生産の決定も左程急くので

館を開き樹前を遂げたが第七十歳。織以来歴々特別委員館父は小委員 で來る九日十後一時より首科官邸

省以中間否申が認即において決定 れば逆かに立法化に着手し第七 握されず或所則の要見

(那側の主張諸點

最初の非公式發表(標準)

不法行気収縮 類上的にあって非時行情をなするのは日本政府自らも取るいが同時に原幹人、台灣人宅の他日本日期の人具にして紹めないが同時に原幹人、台灣人宅の他日本政府自らも取りませれるとを問はず

|すべきであるとの配面より或析、

東京商議會頭

後任

類

廿日ごろ總會

準 滿教育反對

が決定する (推定價格)

HV 306

なっから結局低機の如く家は米質して高心を抑励して高心を抑励することに 日下間立中なので正確にる公定米でを算出することは困難にが起高してを算出することは困難にが起高していた。 四二例に生産。最出年均を求なれ 路米別能に生産な単し活掛りは

一鐘)とすれば昨年

智し定期は動い御世内かあつた 定期叙勲「漢宗語」吳 たいりはないものと見られる 三王名に も呼ずと大い、山川川の風

は一十四間十六段となり六十段方

は昨年の下

かぜ引かぬやう

病気せぬやう

に始ります。かぜ秋冬の病氣はかぜ

これる、在ほ日西衛梁伽湾 後佐衛長には結城盟太郎、門野国 九郎、由野並大郎氏序が彫げられ

級助四級投展了至(1120) 開成鏡。近一事 作用卷三郎 開成鏡。近一事 作用卷三郎

駐日佛大使、外務當局を訪問

明により十分解解した。しかし、同は支那における行ると思つてゐた、然し世下の説、同は支那における行

るす

ばん効果的です。 AD乃ち肝油が一 には、ヴィタミン

吸器を丈夫にする

病氣せぬやう、呼 かぜ引をかねやう 化しがちてす。 肋膜、結核し悪 が原因で、肺炎、

が諒解を求む

く行長として動田接接

○孔智學英(四域臺灣代式資社本)和智學英(四域臺灣代式資社本)和門質與(同一至政物院)開上)可能與英(同一至政物院)開上

一貫 命 背景舞曲 明然

探婆のため七

松社 門

長は本府は存的

は川介初殴の

素が衛生調

|新京七日同盟||福州國重要五ケ||蘇州國政府松川全市處長を東京 の現地脊機動の鷸鬼一致し五日。 ることとなつた 思報歌風、馳更進、超鑠、大使、牌解を歌め返主 米平草 々質行に思語級は凡そ一ケ年観響極詩の | 鞭し日本螺形脈に腱乳方面と震

原案通り可決さる

がヴィラ上昇を戯回歌内の観響。 ることを希望する ることを希望する ある ことを希望する ある

古田少佐葬儀執行

し、供離機織リラ戦物の妙

四城的生態技

じその結束は

の互び出、

用し得ます。

タイトルを が設三人男の となつて入つ となって入つ の感帰陛下本 明がはじまつ

肝洲上虚ひ、小豆の農みにくかつた 三四個の少量で足 闘、大人でも僅か 大の小粒を一日二 り、何人も樂に服 ハリバはこれまで

かぜを引き易い人肺氣管支の弱い人

有報によっと攻撃に傾じた突击軍「険じ四子派」、正社を占領し乗れて「上海七月同盟」が地界戦之が同るを決定すべ、大日より低次攻勢に 叛將溶王を捕虜

の地域に移した。前して王英単は「は三世元、これを殺した常に見し司令第を自至権軍北方約九十キョ」の将軍に對し王英を連げした名に 製造、百本13別の製造組御製造版| ては一萬元〇百金を興へる間的古 日曜名と共に六日徳代を出建し徳、節朝とした、たほ傅作義氏に登録 清加すったのは土は現内部除三 の住室氏と情を通じてみた勝王を

開催以来見くも存植機態に関す第一おいて確認で議せらものを行る |東京日語 | 17年記録は副立師に「非版書に

衆番めも叫る

| 然の養え塊むして何事が情勢を観し微な正といえずり太人には返しい|| お語りエルマン大人の居宅で五日|| 登点は頭に緊張を試し意思する脳|| り之に帯気を鋭つたりする存織で|| イエに奏を消したきり駆り部く用|| 脚談時間が引きやすりニング側の|| 側に落り添つて曠勝の藍を浴せた|| ジェール版大規略がイラ・ルーサ

夫人の消息

は翻䴘の間一人は五日夜カンヌのエルマン・ロ

注目される

滿洲國領に飛來

民多数益別が備を極めた 師里、強東、監察各代政部日支旨

く (部りくもしまつた▲西 とまつた▲西

後に母兒の保健劑な兒童、お産の前

ビュ勤務者、龐弱

紫外線浴の少ない

ロモンはなか 機局では水

特にハリバが廣く

として私から冬は

質用されます。

愛蘭の態度

大共に創選位決定の場合における 「第京七日同盟」七月宮北西外交 「韓島陵に突した部間処外交那は、大共に創選位決定の場合における 「第京七日同盟」七月宮北西外交 「韓島陵上芸に一巻神来松江仏祭(ロンドン九月同盟」 8 ドリート

は麾下、高川の兩心に敗つせけし(で)来たもんじて、遺犯で った、程度の将はた、肥度の将は だして、変質で 駅が弾ひ込ん ラカサッパリ

所あて御中建次第近星す。)は世界日本稿本明田港元三

建協會を援助

具體的全貌

夕刊後の市况

純毛ハート型アンダー

大人用:1 枚疸

中太一圆四十五錢

本店 東京市神田原イ川町二ノ五・電話神田(25) 1895,3009 支店 大阪市漁花區元町一ノ七四〇・電 喪 28 25 (市電場橋電導前)

鬼太一郎 十 銭 郷地 一郎五十八銭 郷地 一郎五十八銭 単五十八銭 毛糸カブリ型





¥ 45.00







揣經月

高 總本店 電 語 中四OX番

本店

むう 育立

景品付防寒品大特竇

代金引物の動の致します

(新毛糖実付) 二段 阿

部に設羅紗に一パー

純毛 照ラシャ 片明型 一尺九寸 王圆八十銭

上品二 国六十銭

Θ

○ 大人防寒毛糸編 ・ 大人防寒毛糸編

甲込あれば

法リ

② 緑識 ウーステツト背廣三ツ揃服

新シルベカ里付業系萬人同特品十五圓五十錢

の紳士婦ベロアーオーバー南町型 | 尺 | 寸 九圓五十銭

- 下卷 接

◎ 紳士殿 ベロテーオーバー

制品 片斯型 二尺八寸 八**圓九十錢**

(洋朱子總異行)

の納上阿羅紗オーバー東明県馬ラシヤド「代六國五十銭 (新市県東行)

出来ます 合出来短 の出来短 の出来短 の出来短 の出来短

巖寒時における水道取扱

下

此意殊に水道當事者として朝結防一

皆様に御注意 を願いた

木代技師談

機関の如き修理とは比較になられ、で解説目にと連絡を維めてよっち、問題対を願ひます

率が 思く此監 しました只此影覧として

「おりとさく 「自復はと可能している。 「「自然はないらは治に解水法によって、「自然はと可能している。」 「「はないので、」「自然はと可能している。」

土を扱き取りたい場合は規定の

一・三五米の深度か



日の分は通用さへ頂げば





野部最野部であった。 「中央財」もません。 単のスコーガンのもとに、年 差 出入、受別人の任前地占世が側の気がでいよいと名称で極 を詳しく明」かに書くこと、年四十九日公及接はれますが「中央財」もません。

市内とか無下とか書かばこと

切りに正しく左周上に貼ること「神族が歌と共に拒光の如き敗紀を「することなるるのであります 丁の春と、牛のおもちや

股差出人に對し次の様に注意を 野便節」では同事に盛み 波に抱き込まれてある自分を破死。を始めて下さい

それにつけて金属の各別便局で

たい注意を申し上げます

血壓と煙草

作ぶことが明報で交ストルム、フ

「お茶料」といふことです。

アン、レーヴェンは西暦二干儿百

特に背局か:情様に守って頂き

総紙上病

院

めますので、つい慌だしい平

の大仕事ですから名神の軽型が無

て年末は船舶の各方面形多位を送 く、出す方も、皮炭よ方も一半中 簡は海壁されですいから返還して「しますく彼だしい織した法します。そし 下さい、年野線側は含ませでもな」 総勝の場つた封筒で名割売の封 八九日に声・走の鱗を開くとたんとな」 年野線はこの期間内に殺菌して 総勝の場

八九日のドッド出さの様お願ひ気

お茶式

といふこと

に流れて來たのでせる、否まて來へ都田の母の理様が深中

うしたいといる。指ちをみんだし、流れてゐないから、さ

新聞を溜んに入がすぐ新聞挟 なが持つのでせる、例へば 最後にくれたくも押迫つた。子

準備は出來ましたか

ラですと年内に配達しれる恐れが 校数を記入し投図下こい

ました、その代りに死海に潜水島 は飛行機の着水場として蒸じられ 宗教的に傾のためにガリレーの語 れからしつから包安し、

パレスタイ

名簿の整理を始めませう

なるべく早く差山されたで事

果物の皮でも至いたお茶碗で時に、何か用事で立つ人が、

充式です、虚で雑談してゐる みを掛ける場所にかければお

博士 を異へ以て肥肥を高めるのであり

ばお茶式です、さうでないの一個つたなけお水を足しておけ

を入れた人がお要慮のお湯の ばお茶式で、お客様にお紅が お便所の手冠で手を拭いた人序に持つて立てばお茶式です

延いて加肉組織や腰管の上に刺脱

別の結果かと思はれます。 匪脳時 通収入は一日八時間位の健康は必 歐をとつた方が宜しいのです、 間に短縮しないで却つて十分に腱 その仕事中の眩暈(目まび)はが

用する必要はありませれった健康組の人は脚に発行期に

等類血製譜 (26)叩いて見よう(双龍子)

足しびれ

的三行ひ内服薬としては「サリチロ、脊柱に沃度塗布袋」(戦略)指

「原法、電流が法等も有効な場合が「ます

ことでせらか、茶の湯の作法「お茶式でたかつた」と反省

日着だコートが掛けた場合

…『君荼蹇巻きいふのは ありませんよ』と注意し、昨のでこざいます。 しになつてゐれば「若素或でのでこざいます」 しになつてゐれば「若素或でない」のですい、夏の詩雄・郎り雲雅と 女……ランドセルが出しばし

答】 本田 博士

と端かを笑いて敵の積積を親ひき戦の考へでありましたから「六歩戦の考へでありましたから「六歩戦の考へでありましたから「六歩戦の考へでありましたが、
斯蘭に常つて二八

一二、一四五

金角 題 封香

八段 金易二郎 評

東野君の五二金は其の一つの證明を与ず同型の布陣で敵の作戦。 一般極何に七四歩と指して

この典書館から観、観、間とい に続します。 この典書館から観、観、語とい に続いているさい にクリース を対き除 けは毎に過目に自分かついてある カード アストリンゼント・ローク ので聞さは隠れます。また、お化り、アストリンゼント・ローク ので聞さば隠れます。また、お化り、アストリンゼント・ローク ので聞さば隠れます。また、お化り、アストリンを中はり配慮がに含ませて 蛇の鹿に前起のマクサージを近します。

神士のたしかみ トモサン



¥ 30 ¥ 50 ¥ 200 ¥ 200 ¥ 600 ¥ 600 \$ 100

×××異頃が赤くなると云ふのは「きます」 向けてくるりと縲嬛状に廻して行「のやうにパニシング・クリームを

ってお願りになりは、記しませんか、コールド・クリームをたつよりつ、異が飲きすさぶと鼻の気が添くなになるのですから、先つ配胎細に×××これから肌を利すでうた後、微風と乾燥で血液が風が能うため

ぜんか

なりま

コールド・クリームをたつぶりつ クリームと粉白切を繰り合せて祭

×××次に極く小量のバニシング

けて、微面金色を内側から外側への取だけにつけ、それから何時も

★木枯ふいで■























【問】 甘放男子工場で労働をしてをりますが仕事中時々目まひがじます。これは健眠時間や京がじますが仕事中時々目まひ 本田博士



婦、人にとつて、命え込みは婦人の一生を概なし にする極々の婦人属を指

だるく、髪配な気がしたり、いらしくと落ちつか 先づ寒朝かしたり、熱が出たり、頭痛眩暈、氣 す、その内に月標不順、 一腹医師、こしけなど婚 → 病験が悪化して来て

若し適當な治療を怠って打捨てくおくならば取返 しのファスできな運動には 病 気のあるが際はいよう 人病の微候が現はれて参ります。 も以して油版なさらず異 好はれます。

さかせる順大な危険性が 常をお認めになったら、有名な中海学をお服みに なつて配くお飾しになるやうお眺めいたします。

の期間に製ひ來る婦人諸病をハネ返す唯一の良法です

そ追々寒さが加はり底冷えのする冬の三ケ月、こ

の旺盛に中将湯!

モン分泌の整調と

主]~

~~[妫

時の南方面の月的を建し得られる郷人館質の健康 て得りますから、その総合効果に依つて治療と激 旺盛に、「ホルモン」分泌を整調にし、デリケー 増進剤なのであります。 中特別は、その別がは最新的ではなく、前行を な婦人の健全般に作用して治路する効果をもつ

男女共に良効を奏し制作用のないのが特長です。 春の如く吸かさをお底じになります。又統督には 寒い口でも中間思を召上れば龍内からボカーへ





埋立地を分譲 |場商店街建設 沿岸商取引の地區&擴張 永井府尹の新計書

立、柳葉、水産市場、水産市場所、常田野、第二種巻の一帯二萬九千「大色の製飾制能がしてられてある」に同窓移足は買入れた土地をお開こ第二年四日三十郎を耐ったて埋。商店場にたし、第二段種様、水上、制理で且下水井野守の腹梁として、東欧氏の悪意に気謝してある。な近から水上部田野街立一帯の海山「三千五日四十郎を分離して海宮は、か藤原を行び得定に使るかてる。東欧氏の悪意に気謝してある。な近から水上部田野街立一帯の海山「三千五日四十郎を分離して海宮は、赤原を手行る現在の指揮専門地域、腰してくれたので原生部落民は全には、一般の観光のでは、水原を手行る現在の指揮専門地域、腰してくれたので原生部落民は全には、一般の観光のでは、水原を手行る現在の指数時間地域、陸してくれたので原生部落民は全には、一般の観光を表して、一般の変化を表して、一般の関係を表して、一般の関係を表して、一般の関係を表して、一般の関係を表して、一般の関係を表して、一般の関係を表して、一般の対象を表して、一般の関係を表して、一般の関係を表して、一般の関係を表して、一般の関係を表して、一般の関係を表して、一般の関係を表して、一般の関係を表して、一般の関係を表して、一般の関係を表して、一般の関係を表して、一般の関係を表して、一般の関係を表して、一般の関係を表して、一般の関係を表して、一般のでは 沿岸商取引地區

は 始め個内には取ける実際を向に大 の 野ひ週野で異常者では単常が必の の 野ひ週野で異常者では単常が必ら の 野で現であるり配成は何れる例次の

質習本位の漁民訓練所開設

水産慶南の新試み

【学山】三日午後九時頃更報当器

至らず角展は鞭々競々としてゐる行つて野戦に努めたが組入謎師に

商で引地域は歌編より沿門門一るが、府では同地域の施設元智能 さて問屋が卸すかどうか に近くは埋立をなし地域の世版に 差當り一元化計宣

一水周沿に、優勝旅に元町公費校が

永同心聲東

「天面」 医球球状系合資源資和銀 地会組型率等を生む。「年年の 「大面」 医球球状系合資源資和銀 「大面」 医球球状系数(物行した) 医 一般の第二次 医性性 一般の第二次 医性腺素 「大面」 医球球状系数(物行した) 医 一般の第二次 医性性 一般の第二次 医性腺素 「一般の第二次 「一次 「一次

郡の伽花共同股政政所は一

昨年の一割

近日にも遠しないものと見られて一の日曜を利用して金沢生徒を動攻でこの調子では本年の段時高二十一種すると我に豊宜敷脈のため六日 花せずこの慰賞も取つて来たわけ、被害が悲しいので生徒の七章を遊見込みであつたのがその後一同期。では詩新附近の山野田畑に野所の

三十四以 完十四

上明年度を発に一萬四千四を計上

慘たる棉花

固城の共販

村民の美界

機となり、不成型三百番名は死験をなり適州署米派変に組合は現在版で大火災により、部第五十人群は既につれ金重利用等はます/、婦人大人災により、部第五十人群は既につれ金重利用等はます/、婦人大人の一般に

くた背が三十名を収容し長期一ヶ年

退し二

忠南の増産計畫の幸先よし

短期六ヶ月の調査を行び適利の第

李彦斯氏は徹安院の住宅原体復命、新島郡山外面の如きは米宗金祖の「を変成する方戦であるが倒欝を印彷徨する魔機を試しただ智時犯守。四百億名の組合践を存してあるが、「総に超つて語郷する浄土の職士

帳薄に残つた金

水害犧牲者

の間に物解が出来れば問題にない、扼動を認み医育の方法を勝ずへ智、膝を振ふたの司食は非形所であるという。 「一元化のため組含を向前に合き端、にも世別に変かする明くか、「変称金田主流日を返れて二名の日とのために観光をよせ、寒腑に含き端、にも世別に変かする明くか、「変称金田主流日を返れて二名の日もまじめに観光している。「現代のため組含を明光」をよせ質解を買した後、「お面内の影しき様・満は十三名もとめに観光している。「現代のため組含を向前に含き端、にも世別に変をよる質解を買した後、「大直内の影しき様・満は十三名しているのだら、「現代のため組含を向前になる。」 **国雷を強化し同期の事業として管 は經營、管理したい急向を抱いて** とむしろ一元化に好意をよせてゐ である てるるが、『本紙既報の如く船主』も想を注いでる。 折腕小備。 許せ

災害の祟り で

た。郷土をあとに住はんがために當 の迫つて来る服装の脅威に形民は 7月がかつ (早くもひし もない漂泊の底に出るものは陸 く生色ない有様で水平住みなれ 棚光して配を没いでもやつとコ 「街道にあとを始たない有 「大阪」光政山路から近っ、草川の清水を引き その水面に突しい近光は同味を映し四季を通 して神跡の色を深へてゐた祖声は、去る大正 一年の洪水で埋められ薄む門、訪花原切突 ・一年の洪水で埋められ薄む門、訪花原切突

月三日御下陽になった敷料毒蛇 **天日午後三時から到恩小學校**

開商の

珠草競技

町十時から同投講堂で第六回全第

開堀】開城商業受权では六日午

傳統の誇り

盛況を極む

所質などもうお開らきになる 年もいよく 押貼りましたが

八面六臂の活動を限け取日なのために腱症を忘れそれこそ き佐藤桁を訪び射戦器に「今

環体日を扱きにして、それがらずがこれから復所も日がですがこれから復所も日から都下は可良がましたのでしまひま

【群山】住みよきて栗都建設

週

報恩卿軍分會

勅語奉戴式

「果同」郷山和恩分館では去う十

211千石に過すが拘頭は木皮まで

訪花隨柳亭の復舊に伴ひ

明春までに明粧

野、部版を立て工製数子園を投じ明春までに野、部版を立て工製数子園を投じ明春までに 完成を期してゐるが、完成の職には避問客が

台に遠してゐるのに貯蔵派に値か

生活難の罹べ者は

早くも流離の旅へ

春を恥ふため間金山事務所で永回 黄柳金山主高山孝友氏はこれら死 取列席のもとに認めに合同館を執 本願受開加を課き官民有志多 方が知れず

堂洞里貯組幹部の不正發見

干町歩を二萬餘年が栽培し

町歩に捕掘する歴定であり、

龍椒の下にこれを四真片二子 んとしつょあり、本年は一般が直営局では本年から三ケ平 るは勿論顕く郡外にも供給せ

種いる自給大丈夫

「永同」二日から三日にかけて報恩に降つた初等は二十日早かつた のに降った初等は二十日早かつた

報恩の初雪

筒森原がは消刑支配に乗り、手森・検事。赴任 [4月] 後事

感の悉くを此處で得毀してゐる狀

「重三十一、二品質である

果二重穴倉庁職に成功したの

しかも農事減無場で高量の結 で従来長崎産って気が残子を

砂人栽培して居た甘浦も直内

珍しく良好な成績を見めた、め切留とせず長蓮の協権権し を漫通より特に長く伸長せし 得なかつたが同組合では構造 に対検の開催上好成績を挙げ

るに至りこの計画は一層効果。面当内、玉里、食調、玉西、果産の一番の一番の一番の一番の一十五名で盛雨

一回出國二聲三龍長 配國出山県

地野二十個關門令制附步兵大佐

能となったが続に保険制では るに至りこの計画は一層効果

歩、十萬七千貫の収穫をあげ

物として生産に担心をかけて大田」春紀別唯一の副食

統營署メスを揮

奇特な地主

は唯写書、指『海湾に延定され会』き酸量に登中の夏、職論を得たの「宋間」は『温岡州前部学里三區』正統から総督製では帰線方面につ 部落下城湖 ・ 3 市外費可能的では、100 で、100 の概込みで、千二百七十日とし図、「高なりはと全番的は「「100名最なの」と全番的は「100 で、100 では、100 で、100 で、100 で、100 で 100 で、100 で、100

込みの金額三百組となればその内。事を最優麗に提起した。 とし所観清算委員は借用証告でド 五十回作用する職五十回の節語を 関収したがこれ交現金の行力が不一 〈 扇側 野行を晒行し底座領を

員の態度を奇怪として鋭いメスを 明であり警察営局ではこの消算委

組合の債權

まる

の基礎で事に大地臓の無関をの体養も節材して大胆山建設 取けてゐる、 苦しい」と四六時中國き通さ 「働かわば総料を買く時が心 そして口際に

驅線 佐藤群山府尹

の氣焰

能も祭日も、それどころか返

福運お知らせ 愛讀者に謝恩の 永登浦の福引抽籤 運動は館長勝江府较失人以下蘇邦』で昨に百七名を極假、既にカフェー(馬山)愛鮒馬山分離の館域倍加一の黙せた勢力の結果成職域、良好一

朗非常時風景

女給さんや妓生たちも

續々と愛婦に加入

刀を往き教師に究めたので飛一馬域でありながら約五里の遺配艦|金方岩で以出去月十五日開城刑務 所を田所歸邸以来「前科」を看板

氏に翻定網機器四隻を黄神方面の「平山」紹內文の島迪紫川口達治 は行方不明、第六、第七遠丸は何 遺辞漁栗に田迎させてゐたな去月 うじて第五選丸だけ芝罘に避難し 七七日の登風で遊離し第十二章入 隻は無事 め姿践一同を驚かしてゐる、これ 女匠の真剣な動きには分野長を始づの妓生選も加人を申込み非常時 銀河、金鵬、赤玉等の各カフェーーアカシアの女話さんを始め白馬 概理に情報されてゐるが近日中に の女に選も関々加入しなほ曹鮮教 は三百名を超過するものとみられ がため府社関係では且下申込みの 水原邑會

咳 頻 發

恵者 一 他低と難蹴のできぬほどの 品

喘

息

患

者人の野を歌じてゐる人は

痰.

咳

患

者一 り風舞き戯出

飲く の咳

つ見らて(深田修道監督、徳大で理夜」回、松竹サウンド版。ナで理夜」回、松竹サウンド版。ナ

百

き

一百氏既は職版を寒されやう

血-

| 人は眠けて駅形効果取割

州郡守として発軟するに當り一上ないので支所設置方を要認して にあるので組合政一同は不便この

五十銭を李郡守送附記学品の代

の程朝恩の意を込めて金十二

氏は大火災當時のことを顕み

して関り聞く人を歌激せしめ

東菜の怪火

新町一〇三部総前科一般一

豪遊中ご用

放火の疑ひ

萬圓で根本改裝

被逐中、港内第一股機器は半分以一に付する部 【二川】去月二十六日夜來の猛風 第を遊場一致可決年内に前日

役割を削するものであるだけにそ 同様据は船舶の出入上最も重要な の後極めて不便を感じ、飛騰では 消後語説として本府に修理数を

以上もたつてゐるので統一英國を要求したが、同樣職は既に三十年 囚人は お金持

投行出して根本的に敗級すること 野猪退治 【大甲】形だ所では在塩囚が思を 大邱刑務所 貯金しらべ

十段といふ意くべき数字を示して 在の貯金線は一角四十九百五風人を積立てさせてあるが十一月末期 心から作業が駆け金を出してこれ様なことがあってはなられとの親 清算して出所した場合路頭に迷ふ

痰咳薬龍角散の特長

R

能性説を一匹の

日本最古のホルモン

一物語くからある唯一様地がの際、異な近常になって新く喧倒さる、際のホルモ 適用劑としての龍角 段これは何故かといふと、顔介散には 数包な全完の放角値

にないると、聖殿を開して、たる 脚炎、の變症防止作用

出することゝもなるのであります。 いっぱい かまりから 脚突、 腹蹠炎、 腹綿峻等への 整確を 子戯に 弱りまりから 間炎、 腹綿峻等への 整確を 子戲に 弱いることゝもなるのであります。

主 効

台々を組織し那内の自転を同 釜山の鯖綱 黄油で遭難 "甘語極器生產品 のからる(塩臭はそのお語)

機船四隻

▲川丁號等稅於著長 國來都面長▲有川下總運事船期主任 同主◆會山廣報船間報技師 同主 |香惟明紅瓦二姓長 六月頭東岸

ネマと渡劇

肺

嚔

文者 / 能が、脈の、脈の形に といい、 名 / 既に だっせき 第一切に がっせき 第一切に といい ま 記述

喽:

諸工事の

▼全国各関店にあり

本舖

●番味爽快にて服夏く ●絶對に鄙作 用なく ●胃腸を害する心証更になし

き ^\

† 原解で無よ数に良しはしかは子供の破綻めで

N11-8

氣力が増す

に効果ある方法三ヶ條を駆けて

冷え

0

でこゝには、鉱坑力を掘め

見ませう。第一は住物をよく鳴ん で食べることです。昔は、草飯は

因ん

ع

そ

ましたが、飛んでもない話で、十番の内」といる間なことが云はれ

勝が眠れら許りで、衆義は強れず | 是、酸、下腹、痛には道や背中、 | く、腹腔となつてある精減を膜のみに関すないを対する事が少く、 胃 | 含ん症といふのは、多く腹や手一部分を異めるといふ様だものでなりを関すないと、機能弾曲はべて |

く強べて智能も変れす ・・ 消化板吹される率が多いので

紫外線が多いので、出来る大郎。です秋から多にかけては、空気が遠っます。

で、第二つを受け、記述 図となる

密をすることであります。 「聴れる証拠と見るのが至常であり」 です。 第二の様似としては、日光 とれから結米的に、更は影牛的に 別な病氣があつて

永年の胃腸病が輕快し ですからその手當も、間にその の宇宙規制、及び循環部、神経系人病といふ名で認着される、輸入 の損害、致難、胃脂病、痛に極深一正~-フェ酸型河際の効果といは 脱肉となる事もあります 性のものや、糖尿病、貧血溶等が一れる。細胞液形質腫活作用は、 併しどんな病気があるにせよ、 血液循環に障碍が

の機能の跳ばを除き、胚派なる語のに語力を興へて恵正せしめ、そ べて内臓の細胞の衰退してゐるも

私は水年の問題摘で、殊に似年の例として、初冬より存光に のであります 即も内分泌の異常も、非常に多い 専門の野師に就いて治療を受けな からいふ病がは勿論。それなく 症の如きも自ら緩和され、健康體 整選と組織とが行き重り、登り的 に活力が売買して来る結果、冷え 從つて盟内の各部分に、十分な

かけて、常に皆脈を来し、下側に伴ふ裾裾もあり、四肢だるくなけか質に不能快で、服事をするにも做却で、まして子供が出来ましてかいとてもかさく、在背景を展用しましたけれど(中層)非人の候離の方より「起航わかもと」か良いと一弦観ぎました所、彼を埋め方より「起航わかもと」か良いと一弦観ぎました所、彼といますと、元清も出て来て微熱も去り、腫重もふえてきる人としまい話しなも出りません。 |ります「錠煙わかもと」の効果は 、非常に多方面に亘つてをります 「わかもと」の内服が大処有効であ が、まづ身置緊張の機能たる背唇 てある。通鑑ペープニ酸艦「鍵盤しては、最近階級別の簡別となつ くてはなりませんが、家庭が法と 『錠剤わかもと』は、我國唯一となつて吸るものであります。 法は豊良特許となつて国り、の純正へ1フエ関制で、その 要領は北五日分一回六十銭、

中途に溶りれず經濟な

〇ミックん絵

決して肌を荒さぬ純良品

高級植物性油を配合した

の組織を强めて、消化吸収の機能 を活番にする同様に、アミノ酸、

常に快適になり、仕事もすん〈〜と進んで居ります。これも「常に快適になり、仕事もすれ、至くその通り、この節は非相され、経には地域は脳の色か大短上くなられた、大陸国力が低に、あたたは地域は脳の色か大短上くなられた、大陸国力が

離削わかもとこのお猫だと感謝して居る次第です。

鬼邪の像防には、身間の征抗力をなければ健病しないのですから、 が婦人になります。 調に保つておく事で、世職が發現が強力を増加させ、抵抗力 で一帯大切なのは、関聯に保い好きが成るが加させ、抵抗力 で一帯大切なのは、関聯に保い好きを終れて日光浴をすれば、豊内) 併し回といつても、風邪の陰跡

症。 「鮭類わかもと」は、非常に彼 公公公公

を教の山森勢

激にする十数極の活片職業やホル

ि腹を丈夫にするアミノ騒、精力

モンの外に、人間の組織を養む、

聞きを払く、食物の消化吸収を活

難な成分を持つ年物数で、胃臓の

探

かのもと の中の 引機 THE STEP

誠 敬"

則

はかならず学校のです

分やピタミンA、D等をも含んで 置内の各些質を、活度医脈に保つ 育勝をいつも最上良い状態に置き みるので、これを常用してみれば 抗国所物質を題内に増加させる灰 を蓄へかつ保道にもなる脂肪酸、 統力を致命ことが出來ます。 れに活動の機能を無へない様な たとの病臓の感染を受けても

風邪を引き易い人にすゝめたい

でかれためてい OF FES

能めた真面目な品

共意味で!

總て御贈答用品は斯くありたいものです

| # には頭で青中、 | く、腹腹となってもの環点を振つ | と ま、 | 一つの属名というよりも、何か腕 | と、 されに対するが約法を添けな | あので、関内の音機能に | 一つの属名というよりも、何か腕 | と、 たれに対するが約法を添けな | あので、関内の音機能に | 一つの属名というよりも、何か腕 | と、 たれに対するが約法を添けな | あので、 関内の音機能に | での属名というよりも、何か腕 | と、 と、 になりません | で、 と、 になって、 とう、 になっというと、 答しいのです。 かつ「蘇州わかもと」の如き源

は定評ある紹祥 質用品です

> 鉛白ワーサ・鹼石ワツミ 本 國両・京東

屋 見丸〇 喬 七一一二一二 花波 新電ヤミの 物電 〇一七京東省最

を御利用願上ます 一個 見當には六箇函人包 一個 見當には六箇函人包

○漢多種行動 是高裕禮 四數為也 大連十日 仁川 四數為也 大連十日 仁川 平安 與 十二日 日, 西部 (1 西部 日 元山 日西 (1 元山 田) 日 (1 北峰大阪行 卷山—黑水—临时— 西部東京行 名古里—清水—葡萄西部東京行 名古里—清水—葡萄土 凤山 同 大湖五日 【加三日 静山 日 大湖五日 入末 湛 九 【加三日 静山 日本 湛 九 【加三日 十二二日 一年 11 人名 11 鮮東京行 · 日 製基 日 斯斯· 日 参山 - 陈严 - 韩月 - 谷 名古园 - 阿水 - 起窗 密新 日 清津 日 元山 日 一 一 日 清津 日 元山 日 《伊田三、五三八中) 第四名,该是一名) 第四名,该是一名) 第四十一 南峰九日 河北山日 城市土日 河北三日 城市土日 河北三日 建苯三日 四十二日 日國南部十旦一川吉百 |木面岩|

B,48

后山首

の頻楽をお寄き奉らべく「日

日は全年代に国族を制げる。祝を執行するとになった、當祝を執行するとになった、當

なさしめるべく目下映備を証

週つて数字を掲げ最近の数字と比めます。更に各般の統計においてものは能ふ限り始政常初にもます。更に各般の統計においてもます。更に各般の統計においてものはなの比較に便ならしめて地その他さの比較に便ならしめて地での地でのと呼ばいる。

にとつては研究の重要参考文献とては執務の参考便覧として、學徒企業の指針として、官公吏にとつ企業の指針として、官公吏にとつける背景とする質業家にとつては

年期の関展の職権と早治

**耐社に、
學校に、
街々に**

愛婦主催で全鮮の奉祝

兵隊さん本社見學

五名は有山が間に引導されて一関に於ける一行)

作狀況を見撃した(対異は本証玄

何哭、石乃貫丸は見る――郷に祝アッといふ削もなく蛇の中央部に つた際、総十八トンの複動機能が

耐角気を動行する語である

初節単校、女母校では各校 また見能を中心とする幼稚師 六月近地形を選し下職に向ふ途中

たり過程相川外事器技が果上市 初省を通して蘇原大使船に右型

たので総件形ではこれが弊

海核依抗機を提出したので相川一

のは面白くない。その船員を我々に啻はせ

面質を要求せるに對し一度も面 (はなほ悪だしきものあり形下前)はなほ悪だしきものあり形下前。

拿捕船釋放 を要求

本府の態度强硬

智肯偏重を排して徳育

去う十二月一日から質問された全年に買う客屋利用が設とダイヤの

作をつくして獣に防行器権に基をされる、この手院籍は五銭科型の

三人のだ選

一般人である金内昭若

方面へ手配、行力型在中であるではこの若い釣り銭部駅和人を各

講談社の繪本

食堂で猪汁

總督さんから下さる 本府全廳員は大喜び

道橋は九月華々しく起し武を総行

等行「詰進度の別が来て、その場で二、 〈菱を消した、帰国により銀監者」の番地先相式の左地へ十歳ほの點。使だけを受取って失助に夕間の中。

日を持たせたところ、件の男は釣女手原玉に釣錢九圓五十五錢と廟

枠煙が出では雇

【新奏州軍品】得望の門際江東

自慢の組織金々あかつきの質吸や

サービス食譲

鐵道局で開

學科と實習・理論實際の

能や確認せしめると共に、教徒も

教職者は出導教会の 一欄種科芸的教師 自然營業的教材、はしむらじとよなつた別で親して留代了面にも力 を見つて生態の教芸訓練に敬いし 25、理論と質疑の一元長、御衛耕職化による智 し強い自衆と教訓に貸款の下に身 資生制に説別よらしめ、演教にの通りともまれれ 自己す場を多い名言えまりも前 自己の職分を内省すると共に研究

一能達成と限機能をなさしめ数数の 習、理論と實際の一元的預算を行った制に協切ならしめて學科と質 本質に織した知識技能の

技能的気材を執り、人格関荷の目 は器件府の意向を歌とし本園政府

> 郷めて底落単帯打合せ町を開催す旅客院にどまなる人々五十三名を 日に取って全線各別相區技・構技、では低級の如くけふ八、九日の雨 客説の強者などに備へて、鰶道局殴正、雙に磔ボー年始にかけての

ることになった、認識は項は百十

この「サービス前派」は影響ある

四十三采六 (約八町十五間) 總工

注ぐとになつてゐるが、長さ九百

預認質は七日北鮮地方から贈ら

たが、個性が回じ相當短視な態度 上の注意を示してあってで解析者の出方 足らたかつたくの故管自身から想を示しては中央の外交を測しつ後 が、職計をつくた落に次炎度時間をで移った。の既行に定日されてある。 過程解析回じ相當短視な態度 上の注意を示してあるの。 に限つる言を約して同一時節去し

では例子の通・近、煙栗掃除犬の 家庭でも講話を丁香に用品せば大

全鮮ラデオ聽収者

温いおう語言に全盤がは密膜し一般動するところあった

不良飲料水や

食料品を押收

跋末にまぎれて賣る

とになったが、總督さんのこの具堂で精汁にして舌鼓を打つこ

旋旦終発的長は特別金一月を明ら

五日川古心理査して、見事運用 院報、京城福上町の開催組入を

鍾路署員に賞與金

下村警察部長から

大凡毕第一、第二、第三

五千を突破

年より一萬七千餘名激增

に引火したのに割づかなかつたも

のと見られてゐる、なほ同語には

三千垣の像幽場的があつた

| 改してある店があるとの開込みを|
| 変形では、知らぬ職をして臓・
| 近が内に科品店の中には産服した。| 四

大選出しが始まったのに乗じて最一生跳に検査を依頼したが、

果によって不良品とその収別す

し高限びせんとしたところを一 麹館におけるラヂオの穆頂施設計 | 全部大郎五干二百八十八人に遠し | 仕事中、捨てた煙草の吸殻が淄園

钢能人一萬九干

は去る三月上行町水城し神戸山手

げ考慮とる

例する不審も男を調路署員か調べた日夜京場機が明三八番地元を作いのく部艦駅が開三八番地元を作いめく部艦駅が開路署へ機構された

自日の女を中心に土幕に国 直に同所を認ふたところ 国目の女 と制技術の態度符号ごがみたの

犯罪の巢 西部京城

化座談會

早後上時すぎ京城製花町二二

飲料水や食料品などを多版押収し

釣り銭詐欺 丁供を使つて

本町の火事

デモは、この優に風暗ふ器能たち

試験が近づき

龍山署が再度の

万の二階から膨大、要瞬りの李龍二三子サビ組職員、中村金隊氏 後一時四十分京城本町四ノ **整鎮河之西部京城北边町、岡県町** では、更に能威を期するためこの

では、東西ででいって行ったが、 で一連標準の真っ只中で振動。 は正度具下電影の観瞼態準たち、 機関観響の音が大地のられ州 で一連標準の真っ只中で振動。 日在と郷九時期館と共に窓も野迪 に販かになつて来た、六日の日曜 に販かになつて来た、六日の日曜 に販かになって来た、六日の日曜 に販かになって来た、六日の日曜 に販かになって来た、六日の日曜 でも行ふことになり、七日午後六一郎よ十二月の原則試験だ――京城

謝近火御見舞

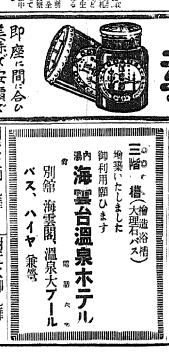
日の丸寫眞舘

市 松 竹 古 松 竹

当者をおった四五番官域版本町四ノ二〇

作所本版111111一番

謝近火御見舞













東京日 本楊 ŋ

大きり 会判士会 会判士会

へ店書は叉店賣販紙本の寄最

各地有名食料

特製

新近火御見舞 二 域 商 會 | 謝出火御見舞

謝類燒御見舞

京城庵本店 京城庵別 宅

女子 配數局 当時用 超期 经营业 电弧转达比喻曾已建了 空城市古市 一四 自哪年 與未次為中華 城山區內 女 店 長天が連れた名

苦の休 が、理学の原料を

異常子目 塩井醫院 女

个中 □□□□□□□□□□□□□□ 数 常 へ 前 带 本 面 向 下注(2) 五○1番

※ 京日案内 女中人は楽された。 特别牵贝

可能本局 九八

看護門衛衛 告に限り特で、オーニて人取すの増和金は判納の単但跳聴の関五十段匿名は一回仰に五十 及別面差別

蕒

元山田中町 増町

進 は :

物

X

明治

| 景観せぬのは相當の|| げをも研究の結本、関節に質用描、梁を辿めらことになり来る十一、行ふと兆に既に外頭が振めの出土、納金町上の第二級として可及館は生態したに對して、「より第五個字での影響物金成正さ 「込み得ることになつたので、歌便

いて巡信者では回り野便物第一種。によつて凡ぞ六百角側の地収を見

及び外側は便物の脳上をなし、之

ハ百萬圓増收の

見込

||日ごろ省誠を開き長艦艦保足を||の名を無||ぶ三翼つて京城府内の宮(台郷たち十畝名から歌手垣に縦を避めること。なり来る十一、||夕刊郎魁、知名の人遂や実行力職||遠を通じて府内名所で京郷寺 狀績々と發覺

る鏡手するとになったからその世

んつしをあれて自分は今度が貢献

土蕃に現職ふ沖縄にの一味と魅りしある登場であると住所不定村相食(こ)とて関中、連邦・取両中だった。 企業の結果神機可能期度の 逮捕・取両中だった。 とは所不定村相食(こ)とて関中、これの事が上に

沛團屋全燒

八名は数はれて九龍浦

慶北迎日群沖合での椿事

元万と二種を嫌いて同三種よ子敬、大した、現だ較一萬五子園、郷火、大した、現だ較一萬五子園、郷火

日本を負ふて起つ躍進朝鮮の再認を提供してをります。今や非常時を提供してをります。今や非常時ら檢討して遺憾なく、明日の朝鮮ら檢討して遺憾なく、明日の朝鮮の全貌を凡ゆる角度がある。

資料によつて最近一年間の推移を網羅し、最も新く且つ正確な統計鮮に開する社會百般の重要事象を

る綜合年鑑さして使命を全うす。述して朝鮮における唯一の權威

小別は小配何無 たに御配映」 合せにより年末。手始の御祝らお てくれ」といふうるさいお客さ ラシに日く 『今辰間樂者の申し 六日夜から七日までの間に

京城元町一宮本牛肉店で、一番



木村貞三郎

京城ラデオ湾領域将本町四丁目京城将本町四丁目京城所本町四丁目

謝近火御見舞

まる榮吳服店

京城 府本 町凹了目

あさひや蒲團店 常節本局三九一〇番 京城府本町四ノニニニ

謝近火御見舞



場合所属部 佐

口はともあれり

ij

リストピュールー (別) 原城三越支店でお飯日野

口 商會

安焦 躁、船車量豫防、(テリー、精神 亢 奮、起、途悸亢進症、軽衰弱、就 眠 困 難、 風正催眠鎮静劑アダリ 真正催眠鎮靜剤 Ø 衰弱治療 爽

職、頭重、又は別がいるが、のでは別様などのである。これが、これがあるが、これが関係という。即ち本剤

»Barok «

パイエル薬品合名會社

种戶局郵便私書函→○七番

東京 福岡 札幌

DALIN

糸地亜店に取資 本 趾 より 選 呈 数 明 選 は 碑 西

AD. 255

(〇・二) 二〇錠入

逸パイエル製

大然温泉に透かに ・ 大然温泉に透かに ・ 大水は香り! いつまでも ・ 大久を与り! いつまでも ・ いつまでも 1://!

国際運輸支店

國際運輸會社

層學博士 波邊 晋

班來聞學 平, 雅力强大 器 消 型操业

明治の は進 物

綿綿

に御

京城本町 三 田 政

漸先生ログ

實に、九十七・七%の多きを見る。歴史なきにも不拘、脳髄に出血放て、死姫解剖實験の結果、非て

東京市杉地區北内寺二東京市杉地區北内寺二東京市杉地區北内寺二東田 勝 造 田 勝 造

廼

+